

2014

JUL. 7 vol. 36

# 東京成徳広報



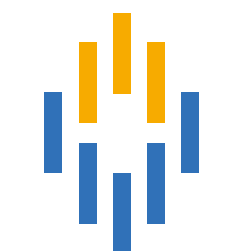
十条台キャンパス新3号館



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	<b>巻頭言「グローバル化社会への対応」</b> 理事長 木内 秀樹
P 4	<b>就任のご挨拶</b> 東京成徳大学深谷中学・高等学校校長 神田 正
P 5	<b>学園の動き</b> 役員・評議員の改選 学園人事 平成 26 年度事業計画 平成 25 年度事業の概要 平成 25 年度決算報告
P 9	<b>ひと『活躍する卒業生』</b> 学園評議員・後援会副会長・短大同窓会桐花会会長 遠藤洋子さん（中学・高等学校、短期大学文科英文専攻卒業） 病院勤務 遠藤尚良さん（人文学部福祉心理学科卒業）
P 10	<b>東京成徳学園の歩み④</b> 大学の開学から学園創立 80 周年まで
P 12	<b>進路状況</b>
P 14	<b>TOPICS</b> 大学院 大学 十条台キャンパス 大学 八千代キャンパス 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷中学校 深谷高校 幼稚園 第二幼稚園
P 19	<b>ニュース</b>
P 20	<b>入試カレンダー・お問い合わせ先</b>



TOKYO SEITOKU

学園シンボルマーク  
イエローは「活力」と「勇気」を表し、  
三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、  
同窓生を象徴しています。  
ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五  
本の柱は五つの教育目標を象徴していま  
す。  
そして、八本の柱が一体となり、東京成  
徳学園とその学園に集う人々のヒューマ  
ニティを作り上げる姿を表現しています。

**表紙 十条台キャンパス新3号館**

十条台キャンパス再整備計画の第一期工事が終了し、6月末に3棟の新校舎が完成しました。9月の後期授業から使用開始となります。

新3号館（中央）は本館（右）と図書館（左）の間のアカデミックプラザの奥に配置され、造形や音楽の実習室、ホール等からなります。正面には平成15年に鎌田名誉教授（短期大学）から寄贈いただいた「楷の木」が定植され、ホールはその名を冠し「楷の木ホール」と命名されました。



## 「グローバル化社会への対応」

東京成徳学園理事長 木内 秀樹

### 「東京成徳ビジョン100」の策定

「東京成徳ビジョン100」の策定が進んでいます。これは、創立90周年事業の一つとして企画されたもので、創立100周年に向けて学園と各校の将来像を構想するものです。

私立学校にはそれぞれに「建学の精神」があり、それに基づき独自の教育が展開されています。「建学の精神」は学校にとって不易なものであり、時を経てもその意義を失わないものですが、時代のニーズをとらえ、教育に活かしていく必要があります。その意味で今回学園及び各校の将来像を策定することは、今後の目標を共有し、在校生、卒業生、教職員のオール成徳のエネルギーのベクトルを束ねる役割を果たすものと期待しています。

本年3月の学園理事会で学園全体のビジョンとして『成徳』の精神を持ったグローバル人材の育成という理念が承認されました。今後学園ビジョンを踏まえ部門ごとに提示された課題を検討の上、各校の構想が取りまとめられます。

### グローバル社会への対応

これからの日本における教育のキーワードとして「グローバル」というテーマが注目されています。そして、「英語」や「ICT」などグローバル化した社会で求められる能力を高めるとともに、これまで日本の教育ではあまり取り組まれて来なかった「ディベート」や「プレゼンテーション」などのスキルも必要とされています。これからのグローバル化の波はすべての人に押し寄せるものであり、ごく普通の学生にとっても避けて通れないこととなるでしょう。仮に活動の場が海外ではなく国内だとしても知識・教養・考え方など新しい視点で学ぶことが大切です。

最近の報道では、文部科学省は現在のセンター試験を改革してアメリカのSATのような試験制度を5年位を目途に導入しようと考えているようです。AO入試などで入学した学生が大学教育についていけないという状況を打開し、加えて全入時代を迎えて入試に代わ

るハードルを全員に設定することにより中等教育の質向上を図れると考えているようです。しかし、中等教育での学習成果はPISSAの検証でも分かる通り、世界でも最優秀な国の一つであり、日本国民全体の基礎学力・教養を確保することに十分な責務を果たしていると思われまます。むしろ大幅に見直し改善を図るべきは高等教育（大学）であり、教育方法のグローバル化をし、学生の意識と教員の指導方法を変えない限り学士力の向上は難しいと思われまます。ハーバード大学のマイケル・サンデル教授やスタンフォード大学、MITの講義の様子をテレビで視聴し刺激を受けたのは私だけではないでしょう。

### 日本人の誇れるグローバル感覚

日本ではグローバル化が遅れているので何とかしなければならぬと考えがちですが、足りない部分だけでなく世界に誇れる日本人の良さがあります。それは、「感謝」と「信頼される（徳）」の精神と行動です。これから、このような良さを失わずに世界にもっと発信して行きたいものです。

先日のワールドカップ、対コートジボアール戦終了後に日本のサ

ポーターが行なったゴミ拾いについて海外から称賛の声が寄せられました。イギリスの新聞には敗者側のサポーターが場内の跡始末をして帰ることは他国ではあり得ないとの驚きの報道がされました。しかし、日本では当たり前です。日本の学校教育では公共施設を利用した際は、きれいに整理整頓して返すことを厳しく教えています。

最近、イギリスBBC放送が世界24ヶ国で実施した国際世論調査（6月発表）では「世界に良い影響を与えている国」として日本は5位にランキングされアジアではトップでした。また、日本の外務省が3月に東南アジア諸国連合（ASEAN）7ヶ国を対象に世論調査を行い「最も信頼できる国」を聞いたところ、日本が33%（1位）、アメリカ16%（2位）そして、隣国中国は5%、韓国は2%という結果でした。

これからのグローバル化に際し、多様な視点を持ち、異文化理解を通じて他国の文化と人々に敬意を払うことを忘れてはならず、これまで日本の先人の努力によって実際に名誉ある評価を受けていることを若者にも引継ぎ、真のグローバル人材を育成していきたいと考えています。



## 「就任の挨拶」

東京成徳大学深谷中学・高等学校  
校長 神田 正ただし

今年4月から、大谷幸男校長先生の後任として赴任いたしました。大谷先生は引き続き、本校の顧問として、校長への助言の他、中学校の総合的な学習の時間（「生き方在り方」指導）、全教員の授業観察を担当され、今後も深谷校を強力に支えてくださいます。

大きく元気な声で次の言葉を返してくれました。「優しさです。」

私は、深谷校の校風と「成徳」の教育成果の一面を見た気がしました。

現在の本校の一番の課題は、本校の魅力を一層高めて発信し、本校で学びたいと思う意欲溢れる生徒をできるだけ多く迎え入れることにできると思っています。

「誰にでもできますが、誰にでもできないことは何でしょうか。」

本校では、建学の精神に基づいた「徳を成す」ための諸教育活動が着実に実践されております。その結果、それらが本校ならではの魅力となり、生徒の人間性・社会性の伸張には保護者の高い支持があります。しかし、全国のどの学校にも共通する課題でありますが、本校最大の課題は「学力の向上」と「生徒の進路希望実現」であります。人間性等の伸張は、数字では表しにくいのに

### 深谷校の生徒

高等学校の始業式に、私は、校長挨拶の中で、次の質問を生徒に投げかけました。

「誰にでもできますが、誰にでもできないことは何でしょうか。」

私の用意していた答えは「何かを続けること」です。新しい年度の始業式に当たり、生徒に学習や部活動、よい生活習慣などを継続する決意を促す意図の質問でした。私が予想していた生徒の答えは「努力」や「頑張り」などという言葉でした。

すると、生徒会長がフロアから大

対し、これらの実績は、校外に向けて、数字の結果となって発信されま

ることにしております。進路指導には、同窓の大学生や大先輩に、座談会、講演会、学習指導などで支援をお願いし、生徒の意欲向上を図っていく計画です。

### 課題解消に向けた取組

#### 「オール東京成徳」

今後は、本校の現在の魅力を発信しながら、生徒の学力向上と進路希望実現に向けて、学校をあげて取り組み、結果を出すことが課題解消への本筋だと思っております。

大ホームランを狙いながらも、今は「オール東京成徳」によるヒット、バンドの連続で、生徒の進路希望実現を着実に進めていきます。

本校の宝のような最大の魅力は「成徳の生徒」であります。そして、卒業して大学等で勉学に励んでいる卒業生と、社会で活躍している同窓生も本校の大きな魅力であります。

最後になりますが、私の教育信念は「教育の評価は、『教師が何をしたか』よりも『生徒が何をしたか』が大切であり、さらに一番大切なのは『生徒がどう変容したか』である。」というものです。また、好きな言葉は「実践・実行」です。

例えば、魅力発信方法の一つとして、学校説明・見学会では、小中学生やその保護者に、本校生徒の発表や学校生活の説明を聞いてもらったり、生徒の授業風景を見学してもらうなど、本校の生徒（Ⅱ宝）を全面に出した方法に切り替え、教職員は陰役にする予定です。

微力な私ですが、深谷校ともども、よろしくお願いいたします。

路希望実現」であります。人間性等の伸張は、数字では表しにくいのに

学力向上には、教職員の一致協力体制による指導が不可欠です。授業互見による自主的研修強化の他、管理職による授業観察・指導も徹底す



役員・評議員の改選 学園人事 平成26年2月～7月

平成26年4月に開催された学園理事会・評議員会において、役員に改選が行われ、左表の通り決定しました。理事が退任されました。また、大谷幸男

理事・監事・評議員

役職	氏名	現職
理事長・評議員	木内秀樹	短期大学長、中学・高等学校長、幼稚園長
理事・評議員	木内秀俊	学園長
理事・評議員	海保博之	大学長
理事・評議員	○ 神田正	深谷中学・高等学校長
理事・評議員	渡部賢	大学事務局長、短期大学事務局長
理事・評議員	竹内利行	群馬大学副学長
理事・評議員	前田雅英	首都大学東京法科大学院教授
理事・評議員	青柳晴久	赤城印刷株式会社代表取締役
監事	大澤健	元深谷高等学校長
監事	黒崎康夫	株式会社黒崎インターナショナル代表取締役
監事	黒田定男	前大学八千代事務局長
評議員	安見克夫	短期大学幼児教育科長
評議員	松崎博	大学事務局次長
評議員	永井聖二	大学子ども学部長
評議員	石山賢	法人事務局長
評議員	星野薫	第二幼稚園長
評議員	藪崎精克	学園後援会長
評議員	染谷一子	中学・高等学校同窓会長
評議員	遠藤洋子	短期大学同窓会長
評議員	岡田康司	大学経営学部長
評議員	新井邦二郎	大学院心理学研究科長
評議員	津島泰雄	歯科医師

○・・・新任者

〔役員就任〕

理事 神田正まさし

埼玉県立熊谷農業高等学校、羽生高等学校等の教諭ののち、埼玉県立坂戸ろう学校長、坂戸高等学校長を歴任し、その後、埼玉県立総合教育センター指導主事兼主任専門員を平成26年3月までされていました。平成26年4月より東京成徳大学深谷中学・高等学校長に就任されました。

〔役員退任〕

理事 大谷幸男

埼玉県立大宮高等学校長等を経て平成21年4月に本学理事ならびに東京成徳大学深谷高等学校長に就任。東京成徳大学深谷中学校設置に尽力され初代校長に就任されました。退任後は同中学・高等学校の運営・教育研究などについて助言をいただく顧問に就任されました。

「平成26～28年度中期事業計画」の推進と「東京成徳ビジョン100」の策定

平成26～28年度の経営課題として、以下の諸点があげられます。

- (1) 平成28年度に始まる中等教育対象年齢人口の減少、(2) 大学進学率の頭打ち、(3) 大学の学部・学科新設に対する審査の厳格化、(4) 実学化や資格志向等の教育に対する社会的ニーズの変化、(5) 教育再生実行会議や文部科学省による学校改革や教育・研究改善活動の制度化・政策化、以上の経営課題を踏まえて、各校は平成28年度に向けた教育・研究改善の目標を定め、各年度における各校のPDCAを通じて実現を図ることにしました。計画及び各校の目標については東京成徳学園ホームページに掲載していますので、ご覧ください。
- (<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/report/index.html>)
- 学園創立100周年を迎える平成37年度の将来像を、示した「東京成徳ビジョン100」を学園創立90周年の平成27年度を目標として策定しています。

学園の動き

採用

退職												職員												教員												採用											
所属												所属												所属												所属											
大学												法人事務局				幼稚園		深谷中学・高校		中学・高校		第二幼稚園		幼稚園				深谷中学・高校		中学・高校				短期大学		大学											
氏名												氏名												氏名												氏名											
配属・役職												配属・役職												配属・役職												配属・役職											
日山 紀彦												玉山 麻結												瀬戸 千紗												神田 正											
応用心理学部福祉心理学科教授												技術職員												専任講師												専任講師											
宮本 文雄												坂下 正基												清水 里紗												伊藤 大貴											
応用心理学部福祉心理学科教授												技術職員												専任講師												専任講師											
加地 雄一												高橋 裕一												瀨戸 千紗												北村 厚											
応用心理学部福祉心理学科助教												労働												専任講師												専任講師											
飯田 順子												岡野 成美												鈴木 沙耶香												外川 陽菜											
応用心理学部臨床心理学科助教												事務												専任講師												専任講師											
山口 正寛												長谷川 幹												瀨戸 千紗												田中 美穂											
応用心理学部臨床心理学科助教												教諭												専任講師												専任講師											
加藤 理												小山 典子												瀨戸 千紗												橋本 雄志											
子ども学部子ども学科学科助教												教諭												専任講師												専任講師											
吉川 好昭												本間 美穂												瀨戸 千紗												宮越 美沙											
子ども学部子ども学科学科助教												教諭												専任講師												専任講師											
半田 勝久												藤江 曜子												瀨戸 千紗												安田 一平											
子ども学部子ども学科学科助教												教諭												専任講師												専任講師											
渡辺 千帆												濱屋 靖美												瀨戸 千紗												宮越 美沙											
経営学部経営学科学科特任教授												教諭												専任講師												専任講師											

退職

職員												教員												新任・昇任・異動												退職											
所属												所属												所属												所属											
幼稚園				深谷中学・高校				第二幼稚園				大学				深谷中学・高校				幼稚園				深谷中学・高校				中学・高校																			
氏名												氏名												氏名												氏名											
配属・役職												配属・役職												配属・役職												配属・役職											
新任												新任												新任												新任											
海保 博之												今 仲 昌宏												小川 正守												田端 美佳											
東京成徳大学人文学部・応用心理学部図書館長兼務(学長)												人文学部部長(国際言語文化学科学科長兼務)												技術職員												技術職員											
堀 左馬之介												江間 由紀夫												増田 祥子												増田 祥子											
大学院事務局長兼務(事務局次長)												応用心理学部福祉心理学科教授												助手												助手											
新任												新任												新任												新任											
松崎 博												味府 美香												大庭 幸恵												大庭 幸恵											
主任												長谷部 孝司												金井 正美												金井 正美											
入試広報課係長												子ども学部子ども学科学科特任教授												専任講師												専任講師											
新任												新任												新任												新任											
堀 左馬之介												和 田 信行												守 屋 麻衣												守 屋 麻衣											
入試広報課係長												子ども学部子ども学科学科特任教授												専任講師												専任講師											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												新任											
新任												新任												新任												前任											
新任												新任												前任												前任											

部 門		事 業 内 容
高等教育部門	大 共 学 通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京成徳ビジョン100」に併せて学部学科のあり方の基本検討を行う</li> <li>・第三者評価（27年度）を視野に自己点検評価を実施</li> <li>・研究費の管理・監査ガイドライン改正への対応を行う</li> <li>・教員免許更新講習、公開講座、ボランティア派遣などの地域貢献活動を実施</li> <li>・交換留学・語学研修など海外交流プログラムを推進</li> </ul>
	人 文 部 学 部 応 用 心 理 学 部 大 学 院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収容定員未達の3学科（伝統・国際・福祉）の学生募集強化</li> <li>・観光文化学科の教育体制（文科省留意事項）を維持・継続</li> <li>・教育の質を高めるFD・SD・自己点検（PDCA）を実施</li> <li>・「就業力向上カリキュラム」と「キャリア講座」の連動を図り、卒業生の「進路決定率」を高める</li> <li>・学生募集に繋げるための体育施設等の整備・拡充及び設備・機器の老朽化対策を実施</li> <li>・博士後期課程入学定員を確保</li> <li>・臨床心理士試験の合格率を高めるための対策を実施</li> </ul>
	子 ども 部 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校教員養成課程設置、入学定員増に伴う教育課程等の実施</li> <li>・24-25年度自己評価に基づく教育課程の改善</li> <li>・履修メニューの改訂、整備</li> <li>・「教育支援人材育成事業」の遂行</li> </ul>
	経 営 部 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の整備・充実</li> <li>・キャリア教育の充実と就職活動支援の強化</li> <li>・学修意欲向上のための「懸賞論文コンテスト」「ビジネスアイデアコンテスト」の実施</li> <li>・授業アンケート票とFDの見直しによる授業の質を向上</li> </ul>
	短 期 大 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期大学基準協会による第三者評価の認証に向けた取り組み</li> <li>・学士教育の質の保証に向け3つのポリシーの実現に向けた取り組み</li> <li>・子ども学部との授業等の連携強化の推進を図る</li> <li>・近隣地域・協力園との連携と交流を推進する</li> <li>・公開講座（保育研修会・保育研究発表会・音楽研究発表会等）の発展的展開を目指す</li> <li>・「東京成徳ビジョン100」学科委員会の推進を図る</li> </ul>
中 高 等 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部Sクラス（特進最上位）の設置および中高一貫部理数系科目の充実による生徒の学力定着・伸長とそれによる進学実績の向上</li> <li>・「自分を深める学習」の推進</li> <li>・英語教育への取り組み研究と実践（ネイティブ教員の活用）</li> <li>・運動施設の確保整備（南グラウンド借用など）</li> <li>・設備の更新（空調機など）</li> <li>・防災への対応（総合体育館・非構造部材耐震工事、避難訓練・研修会の実施など）</li> </ul>	
深 谷 中 学 校 高 等 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識と規律ある生活態度の確立</li> <li>・個に応じた進路指導を進路指導部長とコース主任の綿密な連携で実践</li> <li>・外部講師等の活用による放課後講習で実力養成をはかり、大学合格実績に結びつける</li> <li>・生徒による「授業評価」の満足度を上げ、ネットに公開できるように努める</li> <li>・「教師の熱意」や「面倒見の良さ」を数値で示し、教育活動をアピールする</li> <li>・互見授業や研究授業・研究協議を通して、指導力アップを図る</li> <li>・同窓会・PTA、地域住民一体となった教育事業を展開する。</li> <li>・奨学生・特待生（含むスポーツ特待生）基準の構造的見直し</li> <li>・計画した具体的施策の実行と評価・改善及び計画したものの実行と評価・改善（PDCA サイクル）</li> <li>・過去2年間の募集活動の反省をふまえた効果的な広報活動の展開</li> <li>・深谷中学校開校に伴う諸規程の整備</li> </ul>	
幼 稚 園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対象講演会等の実施</li> <li>・カリキュラムの見直し改善</li> <li>・教員研修の実施</li> <li>・防災への取り組み実施（備品整備、避難訓練、研修など）</li> <li>・課外教室での施設活用</li> </ul>	
第 二 幼 稚 園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内・園外研修の充実</li> <li>・カリキュラムの見直し改善（給食・食育指導）</li> <li>・英会話活動の定着</li> <li>・近隣小学校との連携</li> <li>・未就園児親子教室の充実</li> </ul>	
法 人 本 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京成徳ビジョン100」の策定</li> <li>・短期大学に係る認証評価機関による評価の支援</li> <li>・収益構造の改善の徹底、各部門への浸透（人件費見直し、予算執行管理の強化、遊休資産の活用・処分等）</li> <li>・事務処理体制の見直し、効率化</li> <li>・広報の見直し（パブリシティ体制の構築等）</li> </ul>	

## 平成25年度事業の概要

学園は創立88年となる平成25年度を終了し、1,687名の卒業生を送り出しました。また、平成26年4月には合計1,758名の入学者・入園者を迎え、平成26年度の学生・生徒・園児数（平成25年5月1日現在）は、5,643名となりました。

高等教育部門において実施した主要な施策は、以下の通りです。

① 大学は創立20周年を迎え記念式典を挙行了しました。創立20周年記念としてイメーჯキョウラクター、大学応援歌、スローガンの公募を行い、大学応援歌「いざ行かん」、イメーჯキョウラクター「とっくん」、スローガン「T（共に）S（ステップ）U（アップ）！」が発表されました。

② 大学・短期大学における運営組織の一体化、共通化を目指して設置された入試・広報センター、就職支援センター、実習センターの活動が初年度を終え、キャンパス間の横の繋がり、教職員の連携が強化され、統一的な活動が実施されました。

③ 教育課程の整備を図りました。人文学部、応用心理学部では平成25年度入学生から共通領域を就業

意識の醸成から社会人基礎力の向上を意図した教育課程に改革し、短期大学ではカリキュラム検討プロジェクトにより、科目の新設、廃止を行ないました。

④ 教育の質を高めるFD・SDの実施。授業アンケートや学生アンケートの実施により授業の質や学生サービスの向上を目指し研鑽が行なわれました。また、認証評価に備え準備を進めました。

中等教育部門では、私学の中高一貫教育に対する社会の期待にこたえて、平成25年度に東京成徳大学深谷中学校を開校しました。また、深谷高校は創立50周年を迎え、記念式典を挙行了しました。また、各校では自習室の整備や校舎内の改装を行い教育環境の整備を行いました。

法人では「平成21～25年度中期事業計画」の終了年度を迎え「平成26年から28年度中期事業計画」を策定し公表しました。

なお、詳しくは東京成徳学園ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/report/index.html>

## 学校法人東京成徳学園 平成25年度決算報告

### 資金収支計算書

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）（単位：千円）

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,269,142
手数料収入	111,756
寄付金収入	43,274
補助金収入	1,475,831
資産運用収入	9,704
資産売却収入	1,162
事業収入	9,476
雑収入	217,855
借入金等収入	2,641,200
前受金収入	891,309
その他の収入	334,987
資金収入調整勘定	△ 1,151,891
前年度繰越支払資金	3,562,024
収入の部合計	12,415,829
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	3,825,537
教育研究経費支出	1,074,264
管理経費支出	343,318
借入金等返済支出	800
施設関係支出	3,148,190
設備関係支出	101,713
資産運用支出	202
その他の支出	270,291
資金支出調整勘定	△ 232,847
次年度繰越支払資金	3,884,361
支出の部合計	12,415,829

### 消費収支計算書

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）（単位：千円）

消費収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金	4,269,142
手数料	111,756
寄付金	45,265
補助金	1,475,831
資産運用収入	9,205
資産売却差額	325
事業収入	9,475
雑収入	217,855
帰属収入合計	6,138,854
基本金組入額合計	△ 119,842
消費収入の部合計	6,019,012
消費支出の部	
科 目	金 額
人件費	3,830,276
教育研究経費	1,791,540
管理経費	413,003
資産処分差額	55,375
徴収不能額	7,675
消費支出の部合計	6,097,869
当年度消費支出超過額	78,857
前年度繰越消費支出超過額	9,339,699
翌年度繰越消費支出超過額	9,418,556

### 貸借対照表

（平成26年3月31日）（単位：千円）

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	45,612,022
有形固定資産	42,335,860
その他の固定資産	3,276,162
流動資産	4,263,382
資産の部合計	49,875,404
負債の部	
科 目	金 額
固定負債	3,220,912
流動負債	1,377,859
負債の部合計	4,598,771
基本金の部	
科 目	金 額
基本金	54,695,189
消費収支差額の部	
科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	9,418,556
消費収支差額の部合計	△ 9,418,556
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	49,875,404



# ひと

## 『活躍する卒業生』

中学・高等学校

(昭和40年卒)

短期大学文科英文専攻

(昭和42年卒)

学園評議員・後援会副会長

短大同窓会桐花会会長

遠藤 洋子さん

大学人文学部福祉心理学科

(現応用心理学部福祉心理学科) (平成9年卒)

病院勤務 遠藤 尚良さん



お二人揃って1期生です。

来年創立90周年を迎える学園の歴史において親子で卒業されている

る方がおられます。今回は、親子ともに短期大学と大学の1期生になられた卒業生をご紹介します。

母、洋子さんは中学・高校を卒業後、昭和40年に開学した短期大学の1期生。ご子息、尚良さんは平成5年に開学した大学の1期生です。

### Q・入学の動機は

洋子さん・小学校の担任から私立女子中学校を薦められ、両親が安心して任せられる学校ということで入学しました。当時は制服の採寸に洋品店の方が自宅に来たのが印象に残っています。また、学校では木内四郎兵衛校長先生が敷地にお住まいで、通学される秀俊先生(学園長)によくすれちがいました。遠足、秋の文化祭、九州一周の修学旅行など楽しかった思い出が一杯です。

私は英語が大好きで、英語部に入り英語劇や弁論大会、放課後は英語学校に通い、中1から高1まで毎年夏休みの1ヶ月間は都内の米国軍人宅にホームステイをしました。英語の日記を奥様がチェックされ、ご主人が校閲・指導という最高の先生でした。ご夫妻に子どもがいなかったからか大変私をかわいがっていただき、基地に映画を見に連れてもらったり、奥様はミシンで洋服を

作ってくださったりしました。

大学進学は教頭先生に学園が開学する短期大学を勧められ入学しました。私たち1期生は英文39名、国文25名という学生数でしたが、入学式後は保護者・教員を交えた昼食会があり、お頭つきの鯛・お赤飯をいただきなごやかな雰囲気でした。大好きな英語を頑張り、教員免許も取得することができました。

尚良さん・当時は高齢化問題についてもさほど話題となっていまじませんでした。これからの日本は高齢化が加速し世界一の長寿国になるであろうと思っています。そうなれば、医療系または福祉系の学部に進むことがよいではないかと考えていたところ母の母校が千葉県に大学として福祉心理学科を開設するというので両親と共にまだ工事中のキャンパスを見学に行き、受験を決めました。父といっしょに予想問題を作って勉強に取り組み、倍率30倍を突破することができました。

### Q・卒業後は

洋子さん・得意の英語を活かして近所の子どもに英語を教え、その保護者の要望で受験生の面倒をみて多忙な日々でした。唯一つの自慢は全員が志望校に入学できたことです。

卒業と同時に同窓会桐花会を立ち上げましたが、一時期活動が停滞した時期がありました。平成に入り活動が復活し、来年の創立50周年記念総会に備え活動の日々です。

尚良さん・4年生の時、知人の紹介で現在勤務する院長を訪ねた所、気に入っていただき、卒業前の12月から勤務を始めました。私は様々な人から相談し易い人・会話が上手などと言われます。誰にも負けないだけの会話を身に付け、素養を磨いてきた努力を評価していただけたと思います。卒業後は病院に勤めながら実績を積み、介護保険事業などの立ち上げを経験し、数多くの事業所を任せられるようになりました。責任という重圧に負けないように日々勉強に勤しんでいます。

### Q・後輩へのメッセージ

洋子さん・一芸に秀いで、他に負けないものがあれば、自信とプライドがつき、いいめぐり合いがあると思います。

尚良さん・将来の就職など方向性を決める判断材料として自己分析をお勧めします。目標達成のために最後まで諦めず、誰にも負けないものを身につけて社会貢献していただけることを心より応援しています。

東京成徳学園の歩み④  
—大学の開学から学園創立80周年まで—

## 東京成徳大学の誕生

第4期総合計画（昭和61年～平成7年）では21世紀の教育にふさわしい環境づくりへの注力が計画されるとともに4年制大学設置構想が発表されました。

当時の法による制限の中、場所の選定などの幾多の困難がありました。それが乗り越え、平成5年男女共学校として大学が開学しました。4万坪近い緑の中にキャンパスがあり、フォーマルとカジュアルという性格を持たせた45度のずれを持つ2つの広場を中心に主要6棟が配置・構成されました。

「共生とコミュニケーション」を教育理念とし、人文学部の日本語・日本文化学科、英語・英米文化学科、福祉心理学科の3学科でスタートしました。初年度の志願者は3,000人を超え、平均競争率は15.1倍となりました。特に福祉学と心理学を統合し新しい人間科学の確立を目指した福祉心理学科は30倍を超す難関でした。木内四郎兵衛学長は「21世紀へ向け、情報化、国際化、高齢化に対応できる人材を育成し



第四代理事長 木内秀俊先生



大学八千代キャンパス配置図（開学時）

たい。語学だけではなく品性、自己表現力を備えた人間教育を目指す」と目標を明確に掲げられ、学生には「コミュニケーション能力の養成とその背景をなす文化、特に自国文化の十分な理解の上でアイデンティティを確立し発信型のコミュニケーション能力の養成が大切である」と式辞で述べられています。

その後定員変更や教職課程の充実、海外研修の実施など教育の充実を図りました。

平成10年には大学院を開設。平成12年の臨床心理学開設と同時に大学院は昼夜開校、社会人学生の利便性を考え現在の北区王子の地に移動しました。

## 十条台キャンパス隣地取得

短期大学では平成5年に木内秀俊学長が就任しました。

キャンパスは1号館～5号館までの校舎を有していましたが3号館と5号館は敷地が繋がっておらず、学生は公道を通過して移動をしていました。非常に不便な為、間に広がる土地の譲渡を所有者にお願いしていました。しかし、突然マンション建設計画が起り、これは一大事と所有者に交渉し、鎌田副学長の多大なご尽力で首尾よく平成6

年に12・320mの敷地が取得できました。これにより十条台キャンパスは一体化され、学園の将来構想への敷地余裕が生まれました。

平成7年、短期大学30周年記念式典、都内のホテルにおいて学園創立70周年感謝の会を盛大に挙行しました。

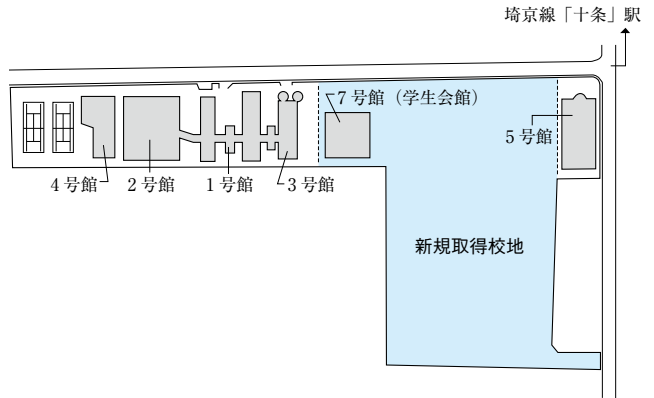
## 中高一貫部校舎の建設

平成9年末に完成した校舎の建築については都市部の建築には規制も多く、着工が1年遅れました。

この新校舎の外観は年代を経て風格がするクラシック、内部は中高生が生活できるのに開放的な空間と、「伝統と先進性の両立」というコンセプトのもと、21世紀の教育の在り方を問うよう細心の設計がなされました。特に生徒が活動しやすく、心地よい環境については限られた敷地・校舎の中で生徒の動線を考え、生徒の立場にたつて文化的空間、コミュニケーションゾーンや和風・洋風の屋上庭園など細やかな配慮が随所になされ、最新の教育設備が備えられました。図書室が1階にあるのも生徒の利便を考慮しています。また、生徒の安全のため都内の学校の中でも特に優れた防災機能を備えたものでした。



中高一貫部校舎



十条台キャンパス配置図（平成7年当時）



創立80周年記念式典・祝賀会  
学生サークルによる和太鼓披露



高校バドントワリング部の活躍

80周年に向けて

高等教育部門の充実・強化

平成10年に大学院心理学研究科を開設、同11年短期大学専攻科に幼児教育専攻設置。同12年は大学人文学部に臨床心理学科を開設し、短期大学文科国文専攻及び英文専攻を言語文化コミュニケーション科日本語文化専攻及び英語文化専攻に変更しました。

平成13年に短期大学では35年ぶりに新学科となる、心理学とビジネスの融合を目指した、日本で初めてのユニークなビジネス心理学を開設。大学も「日本語・日本文化学科」・「英語・英米文化学科」を発展的に解消し、日本人の心を学ぶ「日本伝統文化学科」、国際人としての教養を身につける「国際言語文化学科」（英米文化専攻・アジア言語文化専攻）と改組。激変する時代のニーズに即応すべく、矢継ぎ早に各部門の強化を企図しています。

この年発表された、第5期学園総合計画では、深谷高の体育館・音楽室・美術室の建設と短期大学の十条台キャンパスに図書館・研究棟・講義室・事務室など校舎建設について示されました。平成14年には深谷高等学校40周年記念式典が挙行され、念願の

総合体育館「Fアリーナ」が完成。十条台キャンパスでは新校舎8号館・

9号館が竣工し、木内秀俊学長は「現在、短期大学の発展として4年制大学の新学部子ども学部を設置が検討されている。今後とも高等教育の変化に対応し、短期大学・4年制大学が併存しながらそれぞれの社会的使命を果たしていきけるようなキャンパスに育てたい」と述べられています。

平成15年は大学開学10周年記念講演会、短期大学附属幼稚園創立50周年式典が挙行され、翌16年には十条台キャンパスに「子ども学部子ども学科」が開設され、十条台キャンパスは大学キャンパスとしての機能も担うことになりました。また、短期大学幼児教育科及びビジネス心理学も男女共学化を実施し、キャンパスに男子学生の姿を見られるようになりました。

平成17年、学園は創立80周年を迎え、盛大に式典を催しました。そして、この年9月木内四郎兵衛理事長は勇退され、理事長のもとこれまでの事業を牽引されてきた木内秀俊副理事長が第4代理事長ならびに大学学長に就任され、木内秀樹理事が常務理事に就任されました。

（つづく）

# 進路 進学・就職

## 東京成徳大学高校

国公立大学 (準大学含む)	47 名
北海道大学 筑波大学 お茶の水女子大学 東京外国語大学 電気通信大学 東京農工大学 千葉大学 横浜国立大学 埼玉大学 群馬大学 新潟大学 首都大学東京 防衛医科大学 など	
難関私立大学	220 名
早稲田大学 慶應大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 青山学院大学 法政大学 中央大学 立教大学 など	
その他私立大学	996 名
東京成徳大学	17 名
東京成徳短期大学	6 名
その他短期大学	16 名

平成 25 年度の卒業生 471 名のうち、

進学者は 434 名、約 92% でした。その内訳は、大学 390 名、短大 15 名、専門学校 29 名です。昨年度に比べ進学状況は 7% 向上しました。特に大学進学率は、全体の 83% となり、本校初年度から新課程入試が始まるというところもあり、浪人の発生率も 7 割減の 34 名 (7.2%) と昨年の半分近くとなりました。

## 〈国立大学について〉

今年度の国立大学入試は、昨年度のセンター試験難化の反動と、来年度からの新課程入試の影響で、一般的に易化するものと思われるので、進学率は昨年より向上したと見られます。

## 〈私立大学について〉

引き続き平均点が 50% を切り、さらに公民や地学でも平均点が下がるなど、若干の文系難化傾向となりました。また、理系は昨今の人気が続く中で倍率とレベルが上がる難化が進みました。そのような中で、在籍数が昨年度より 80 名ほど少ない今年の生徒たちは、47 件の国公立合格を勝ち得ました。進学先の大学も、北海道から沖縄まで広がり、国立受験は全国区であるという認識が定着してきたようでした。

全体的には、センター試験の文系難化はさほど私大型の受験には影響を及ぼさず、割と平穏な受験状況となったようでした。前項にあるとおり、25 年度生は在籍が少ないことから、合格述べ件数は昨年を下回るものと予想していましたが、結果的には昨年度より 170 件ほど多い大学合格件数が得られました。早慶上理は 35 名、GMARCH は大幅 61 名増の 192 名、文系難関 (成蹊・成城・武蔵・明治学院・國學院・獨協) は 27 名増の 109 名、日東駒専は 201 名と大健闘しました。また、昨年度大きく落ち込んだ理系難関 (北里・東邦・芝浦工業・東京農業・東京都市・東京

## 東京成徳大学深谷高校

国公立大学 (準大学含む)	8 名
埼玉大学 群馬大学 高崎経済大学 群馬県立女子大学	
私立大学	329 名
早稲田大学 明治大学 立教大学 法政大学 立命館大学 成蹊大学 成城大学 國學院大学 など	
東京成徳大学	3 名
東京成徳短期大学	2 名
その他短期大学	28 名

平成 25 年度卒業生 295 名の進路状況ですが、大学 176 名、短大 28 名、専門学校 63 名、就職 14 名、浪人その他は 16 名でした。昨年度の特徴として

まず就職希望者の数が増えたことがあげられます。ここ数年、5 名程度だったのが一気に増えました。昨今の経済情勢が影響しているかもしれません。もう一つの特徴は、進学コースの大学進学率が男女で大きく違ったことです。進学コース男子 85 名のうち 72 名、約 85% の生徒が大学進学を果たしましたが、女子は 4 割強となりました。評定平均

値は男子の方が全般的に低かったにもかかわらずこのような結果になったのは、保護者の進学に対する意識が少なからず反映しているように思います。

さて、進学コースは推薦での大学進学をうたっています。従ってほとんどの生徒が AO 入試や推薦入試で進学していますが、ここ数年、指定校推薦で進学する生徒の割合が増加してきました。昨年度は大学短大へ進学した進学コース在籍者のうち、65% にあたる生徒が指定校推薦で進学しています。指定校推薦は「安心して」受験できるといってメリットがありますが、一方で安易な学校選択に流される面もあります。従って、そのような進路決定をさせない指導「目的意識をしっかりと持って進路選択をさせる指導」をしていく必要があると思います。

これは、一般入試で進学を目指す進学選抜・特進・特進選抜についても言えることです。学習動機が明確では学習にも身が入りません。また、納得していく進学をした生徒は強いモチベーションを持っていました。今年度はそのような面にも力を入れた指導を進めたいと思います。

### 大学・短期大学

全学的かつ組織的な学生の就職支援を目的として、就職支援センターが発足して1年半がたちました。その間、アベノミクス効果もあり全体的に就職の環境はいくらか改善しているようです。しかしながら企業側はまだまだ厳選採用の姿勢は変わらず、一人ひとりの学生が真剣に就活に取り組むことにより内定を勝ち取っているのが実情で、楽な就活ではありません。大学・短大において学生と進路の担当者、担当教員との個別面談が実施され、各人の希望に沿った進路を実現すべく、センターとして支援をしています。また、東京商工会議所、千葉県経営者協会、八千代市商工会議所、千葉県中小企業家同友会などと連携し地域の優良求人の開拓に引き続き力を注いでいきます。

### 平成25年度の卒業生報告 子ども学部

就職希望者すべてが就職（進学）を決めて卒業することが出来ました。例年通り保育所や幼稚園に80%程度決定し、うち半数以上の学生が公立の保育園・幼稚園に就職を決めています。その他、一般企業（株）ナルミヤ・

インターナショナルなどの子ども関連企業や（株）JTB首都圏等）に就職する学生が20%程度でした。

### 経営学部

学部2回目の卒業生となる今年度は、昨年度と比較して大幅に就職決定率を改善することが出来ました（就職決定率86.9%）。これは、教職員が連携しながら学生をフォローし、共に健闘した成果です。就職先も「自己分析」と「業界・企業研究」等正しい就活プロセスを経ていることにより、学生が納得した就職であると考えられます。

### 人文学部

今年度の卒業生は積極的に就活に取り組み、その結果、観光文化学科は就職決定率が100%、国際言語文化学科も76%と例年以上の高い水準となりました。決定先をみても近畿日本ツーリスト（株）、スカイマーク（株）、ANAエアポートサービス（株）等の人気企業をはじめ上場企業への決定者も多数いて全体的に達成感のある卒業生が多かったように感じます。

### 応用心理学部

りそな銀行グループや東光電気工事（株）、ミサワホームなど大手の企業への進路決定者がいる一方、山武

市農業協同組合や東京東信用金庫、J A かつりなど地元志向の就職をした卒業生が多いのが特徴でした。福祉心理学科では例年同様医療福祉関係が多く約58%の学生が進んでいます。臨床心理学科では、東京成徳大学大学院、筑波大学大学院に合計10人の学生が進学しました。

「社会で使える能力」を育成していることから、幼稚園・保育園を中心に98.3%と例年通り高い就職決定率となりました。

〔就職支援センター〕

主な就職先と決定率

学部	学科	進路決定率	就職決定率	主な就職先	
大学	子ども学部 子ども学科	94.2%	99.0%	幼稚園、保育所、施設等、日本赤十字社<病院>、(株) JTB 首都圏<旅行>、(株) アバマンショップ<不動産>、(株) ジェイアイエヌ<小売>、(株) ナルミヤ・インターナショナル<小売>、茨城県坂東市<公務>	
	経営学部 経営学科	85.9%	86.9%	大竹建窓 (株) <建設>、YKK AP (株) <製造>、(株) クロスカンパニー<製造>、(株) 三栄水栓製作所<製造>、日本生活協同組合連合会<小売>、(株) 目黒雅叙園<婚礼サービス>	
	人文学部	日本伝統文化学科	57.1%	75.0%	(株) ソフエル<情報通信・事務>、(株) トラストシステム<情報通信・SE> (株) いつ和<呉服・販売>、(株) コノエ<呉服・販売> (株) リエイ<生活サービス・介護>、(福) 創志会<福祉・事務> ハウスコム (株) <不動産・営業>、県立高等学校<公務・講師>
		国際言語文化学科	76.2%	100.0%	スカイマーク (株) <運輸・グランドスタッフ> ANAエアポートサービス (株) <運輸・グランドスタッフ> (株) ナルミヤ・インターナショナル<アパレル・店舗運営> (株) ホテルー井<ホテル・総合職>、(株) ヨドバシカメラ<小売・総合職>
		観光文化学科	100.0%	100.0%	近畿日本ツーリスト (株) <旅行・サービス> (株) ツーリストエキスパート<添乗員・サービス> 東京成徳学園<学校教育・一般事務>、(株) エイブル<不動産・営業> (株) ジャパンビバレッジホールディングス<小売・営業> 中原証券 (株) <金融・総合職>
	応用心理学部	福祉心理学科	83.3%	95.8%	(福) 鳳雄会<児童養護施設・支援員>、(医) 静和会<病院・精神保健福祉士> (福) 武蔵野会<福祉施設・支援員>、(福) 慶美会<福祉施設・支援員> (株) セントケア・ホールディング<生活サービス・総合職> 児童相談所<公務・相談>、上越教育大学大学院
		臨床心理学科	70.0%	82.5%	(医) 龍岡会<病院・ソーシャルワーカー>、(医) 昌医会<病院・事務> (福) 賛育会<福祉・事務>、(株) ライフコーポレーション<小売・総合職> 東光電気工事 (株) <建設・事務>、児童相談所筑波大学大学院 東京成徳大学大学院
		健康・スポーツ心理学科	82.7%	93.5%	(株) オンワード樺山<アパレル・販売>、(株) ロンドンスポーツ<小売・販売> 千葉ヨペット (株) <小売・事務>、(株) エポックススポーツクラブ<フィットネス・サービス> りそなグループ<金融・事務>、ミサワホーム東関東 (株) <住宅・営業> 陸上自衛隊<公務・保安>
	短大	幼児教育科	93.7%	98.3%	幼稚園、保育所等、認定子ども園・複合施設、施設等

進路決定率=就職・進学者÷卒業者  
就職決定率=就職者÷就職希望者

大学院

先日、大学院では大学院紀要の製作が終了し、執筆者等に完成品が配布されました。大学院紀要は我々研究者にとって自身の研究を社会に對して報告する貴重な媒体の一つです。今回はその紀要に関して、新しい試みとして「電子化」が行われましたのでご報告致します。

昨今は研究報告の方法として、論文の電子化とウェブ上での公開という2つが急速に進んでいます。「オンラインジャーナル」と呼ばれるもので、論文原稿をPDFファイル形式で配布するに留まらず、図表も含めて誰もが読むことができるようにWeb・HTML形式で公開されることも増えてきました。また、それらは文字情報が保存・公開されていますので、検索性に富み、現在の研究が進められる速度や先行研究の発見に多に資しています（個人的には、今に至ってはこれら無しに研究は進みません）。加えて、それらは近年爆発的に普及しているスマートフォン・タブレットでも容易に読むことができます。

今回の電子化はその流れに沿うものと言え、自身の研究成果を一般

の方々を含めた多くの方に読んでいただけるようになることから、社会貢献に繋がって行くと思われれます。研究者としてこんなに嬉しいことはありません。これからもより良い方法を模索していきたいと教員一同考えています。

最後に、大学院紀要のウェブサイトのQRコードを載せておきます。本記事の執筆段階ではまだ完成はしていませんが、



遠からず論文も公開されると思われます。ご一読いただければ幸いです。

大学 十条台キャンパス

子ども学部

子ども学とは（リレー掲載⑥）

准教授 石黒 万里子

子どもの頃、先生から「大人になつたら何になりたい？」と質問されるのが苦手だった。自分の母親も友人たちの母親もほとんどが専業主婦で、女子の将来の選択肢は極めて限られているように見えるという客観的事実に気づかないフリをして、「自由に」夢を語ることを期

待される状況に、なんともいえない居心地の悪さを覚えた。

子どもは真空状態で育つのではなく、その社会の大人の期待の中で成長する。子どもに対して行使される強制力を、絶対悪として排除するのではなく、むしろ大人の期待という強制力を大人自身が自覚することを促し、これからの子どもと大人の関係を考える。子ども学は、そうした刺激的な学問だと考えている。私たちが当たり前だと思っている子どもの「本来の姿」や「自然な育ち」とされるもの多くが、近代という特殊事情の中で構築されたものであることが、多くの先行研究で指摘されている。そうした正解としての子どもの像に頼ることを諦め、流動的で曖昧な輪郭をもつ存在としての「子ども」に様々な視点からアプローチすること、子ども学の魅力はそこにあると思う。

経営学部

2年目をむかえた

ファッションビジネス

経営学部に立ち上げられたファッションビジネス分野の学びは2年目をむかえ、現在1、2年生合わせて30名以上が熱心に勉強し

ています。将来は自らファッションブランドを立ち上げたり、あるいはファッション関連のジャーナリストを目指したりと、いずれもファッション関連のビジネスに身を置きたいという強い意気込みで入学してきた学生たちだけに、講義を受けてきた学生たちだけに、1、2年生ではファッションビジネスの基礎を学び、3年生になると実際に衣服を作るなどより実践的なカリキュラムも組み込まれています。経営学の理論とファッションを融合した形で学べるのが、経営学部にファッションビジネスが設けられている大きな意義と言えるでしょう。クールジャパンということばに象徴されるように、いま日本独自の文化が世界の注目を集めています。ファッションもその代表で、その注目度はますます高まることが予想されます。数年後には本学でファッションビジネスを学んだ学生たちが、アパレル企業やファッションブランドで様々な仕事につき、最前線で活躍を始めることでしょう。ファッションビジネスで学ぶ学生の未来を大いに期待したいと思います。

大学 八千代キャンパス

伝統装束の着付けで日本全国へ  
東京成徳大学装束班



日本伝統文化学科4年生の三田百合菜さん、白石光さん、安田達弘さんをはじめとする「装束班」は、

日本全国の祭礼や行事に呼ばれて、伝統装束の着付けを行っています。

学科では、「体験学習」を教育の柱の一つとしており、特に十二単や東帯などの平安装束の着装に力を入れており、専門の授業「伝統文化（装束）」でまずみっちり基礎を学んでから、小学校や大学で行われる着装体験にて経験を積み、さらに実際のお祭りの現場に出て、あらゆる衣装の着装を担当しています。三田さんたちは、2年生からこの道に入り、有職研究家、八條忠基先生の指導を仰ぎながら、京都・黒田装束店、井筒装束店に向いて目学びをし、現在では、井筒装束店の依頼で、全国での装束着装に招集されるまでに大きく成長しました。太宰府天満宮曲

水の宴、伏見稲荷大社還幸祭、香取神宮式年神幸祭など、大きなお祭りの着装を担当させていただき、これに過ぎる名誉はありません。

さらに、3月に行われた「佐原の雛めぐり」雛舟の祭りでは、東帯・十二単から狩衣に至るまで、主要な装束をすべてキャンパスから運んで着装し、立派に祭りを成功させました。木内四郎兵衛先生のご出身の地で、地元の皆様のために奉仕することができましたのは、「装束班」のひそかな誇りとする事です。



三田さんは、福岡の神社で行われた、結婚式の十二単の着付けを担当しました。責任の重さをひしひしと感じながらも、美しく仕上がった装束にとっても感動し、こうした機会に恵まれたことに感謝していました。

伝統文化を仕事に結びつけることは、決して容易いことではありません

んが、こうした道もあるのだということ、是非多くの皆様に知っていただきたいと思えます。

短期大学

イギリス研修旅行  
イギリスの幼稚園訪問と子どもの文化体験の旅



ストラトフォード・アボン・エイボン

国際的な視野と見識をもった保育者を養成するため、平成22年度から始まり、今年で第3回を迎えました。

研修期間は後期授業終了後の8日間、参加19名、引率は宮下教授、杉本准教授でした。研修内容は、日本における幼児教育の手法となったイギリスの幼稚園訪問 (McMillan Early Childhood Center, Newton Farm Nursery Infant & Junior School) と子ども文化関連施設の訪問、生活文化に関する体験的セ

ナーの受講など、イギリスの幼児教育事情について学びました。

その他の研修では、シェークスピア一色の中世の古い街並みIIストラトフォード・アボン・エイボンやオックスフォード、映画「ハリポッター」の Hogwarts 魔法学校のモデルとなったクライスト・チャーチ・カレッジ、バッキンガム宮殿、ロンドン塔などの名所を巡りました。また、子どもミュージアムでは古くからのおもちゃや遊具の展示品を観て、自由に遊べるコーナーでは遊びを体験し、イギリス人宅でのアフタヌーンティの生活文化体験もしました。

最終日にはミュージカル「オペラ座の怪人」の鑑賞をして、多くの体験を積みました。今後、学生が保育者として社会に出たとき、保育について広い視野で子どもと接することが出来るようになると思えます。



McMillan Early Childhood Center

中高一貫部

天文部 星空観望会実施



2月7日金曜日、一貫部天文部では、初めての星空観望会を実施しました。会場は、一貫部5階の物理地学実験室とベランダで、お客様としては地元豊島地区の小学生親子を対象としました。観望会初心者の天文部でしたが、天体望遠鏡メーカーの「ピクセン」、科学系教育応援をしてくださる企業「リバネス」の講習会に参加し、アドバイスをもらいながら、半年間の準備期間を経ての実施でした。

午後5時から7時までの2時間の予定の中で見てもらうものは月と木星。月は全体だけでなくクレー

ターを大きく見てもらおう。全員同時に見ることはできないので、体験展示コーナーを作ろう。廊下を利用して、太陽系の惑星の距離の体感模型を作ろう。星座早見盤の使い方講習会をやる。望遠鏡操作体験をやる。雨のときのプログラムはどうしよう。等々いろいろな意見が出て、それは、文化祭がもう一回あるようなものでした。4週間前、ポスターを作り、小学校の各クラスにし込み用紙と一緒に掲示してもらい、連絡を待ちます。何人来てくれるだろうと待つこと2週間、8組20人の申し込みがありました。

観望会の最大の敵は天気です。1週間前の予報では、「曇りのち雨」でしたが当日には「晴れのち曇り」となり、3時半から会場準備、そしてお客様を待ちます。1階入り口の誘導係、5階の受付係、司会進行担当者、展示説明係、望遠鏡整備担当者、みんな緊張する中、予定通り5時にスタート。途中で雲が出始めたのでプログラムの順番を変えましたが無事に終了。あつという間の2時間でした。終わるとすぐに書いてもらったアンケートを見ます。「楽しかった」「また来たい」「ありがたうございました」「もっと見たい」・・・



高等部

ミュージカル「泣かないで」を鑑賞

大変だったけれどやってよかったです。そして、誰もが1ランク成長した半年でした。



写真：音楽座ミュージカル提供

6月17日、東京芸術劇場にて高等部の1年生がミュージカルを鑑賞しました。作品名は「泣かないで」。これは音楽座ミュージカルが満を持して披露する作品です。遠藤周作の小説「私が棄てた・女」が下敷きになっています。主人公の少女

は、大好きな男性に裏切られ、追い打ちをかけるように「ハンセン病」の疑いで復活病院に収容されました。しかし、ハンセン病は誤診であることが入院後判明し、一度は病院を出ますがその後彼女の行った行動は・・・私たちは煩雑な日常の中で、どうしても自分の事ばかりを考えがちです。他者との関係性から「自分」というものが成り立っているにもかかわらずそれを忘れていきます。今回のミュージカルはそこに一石を投じています。「たとえどんな小さなことでも、心に傷(足跡)を残して過ぎていく」という作品テーマは、森田ミツを通して「人の痛みがわかる・自分の事のように他者を見つめる」ことを訴えかけ、多くの生徒がそれに感動しました。その涙は生徒たちが「自分と他者との見えにくいつながり」に気づき、自分の生き方を見つめようとしていることの証しです。劇団「音楽座ミュージカル」は事前に本校を訪れワークショップを実施してくれました。その効果もあつて生徒たちはこの「泣かないで」に身も心も傾倒していたように思います。生徒の心がこのミュージカル鑑賞で成長してくれることを祈ってやみません。



深谷中学校

宿泊農村生活体験

5月26日から28日までの3日間、2年生が新潟県上越市・十日町市において、宿泊農村生活体験を行いました。目的は、農村での生活を体験し、農業の現状を理解することと、ホームステイを通して、人と人とのふれあいを深めることです。

1日目は自然体験。モリアオガエルの産卵という貴重な光景に目を輝かせ、ブナの植樹も行いました。

2日目は午前中がそば打ち体験。名人に指導を受けながら、茹で上げるまで2時間半。できたおそばは完食でした。午後は田植え体験でした。



裸足で入った田んぼの泥の感触に歓声をあげたり、女子がおたまじやくしに驚いて泣き出すなど、初めての体験はドキドキでした。その時農家の方から言われた「隅々まで植えて初めて終わるのだから、協力し合って作業するんだよ。」という言葉が、生徒たちの心に響きました。そして夜は、3〜5人のグループごとに各家庭にホームステイしました。

最終日の午前中も山菜採りや精米体験など、さまざまな体験をさせてもらいました。帰り際にはお世話になった方々と写真を撮るなど、最後まで別れを惜しんでいました。



深谷高校

第48回 体育祭

6月4日、深谷市仙元山陸上競技場で第48回体育祭が行われました。今年のテーマ「羽ばたけ我らの青春ここにあり〜成徳夏の陣開幕〜」のもとに、12競技で熱戦が繰り広げられました。

開会式では、神田正校長先生や新（あたりし）博文PTA会長の激励の言葉に続き、体育委員長の松盛雄一君（3年E組進学コース）が力強く選手宣誓を行い、競技が開始されました。

応援に駆けつけてくれた保護者は、約450名を超え、日差しの照りつ



ける中で、綱引き・障害物リレー・HR対抗リレーなどに最後まで熱い声援を送っていただきました。

また、スペシャルゲストとして、深谷西幼稚園園児45名をお招きし、保育専攻クラスの生徒と一緒に、仲良く競技を楽しみました。

大きなけがや事故もなく無事終了しましたが、今回の最大の収穫は、生徒たちによる自主的な運営が随所に見られたことです。この良き姿を次年度以降も継承し、「生徒自らの手による体育祭」を目指して行きたいと考えています。

幼稚園

武藤聡子先生講演  
「介護の心、癒しの力」



できました。

実母は「重度の認知症で理解力は無い」と辛い診断されましたが、決してあきらめず前向きに介護し、生きる事の重さを問いました。その中で唯一武藤先生が弾くピアノには反応を示され、涙したそうです。

長い介護をされた時の中で、お母様と過ごして老いていく母の姿を見ていた時のエピソードは、誰しもが思わず感じる老いに対してや、「介護される、介護する」それぞれの立場を自分自身にも置き換えて、涙している参加者もいました。最後にお母様がお好きだったという曲を3曲演奏してくださいました。心のこもった音色はやさしく、穏やかな空気が会場に流れとても素晴らしい講演会となりました。

武藤聡子先生は、国立音楽大学ピアノ科を御卒業後、ウィーン国立音楽大学ピアノ科へ4年間留学。最優秀賞を付与されて卒業された素晴らしいピアニストです。そして、ヨーロッパにおいてリサイタルや演奏活動をしておりました。しかし、65歳でアルツハイマー病と診断された実母の介護を20年間も在宅で行われました。今ではその経験を、様々な場所で講演されており、今回は丁度日本にいらすと云う事で講演をお願いすることができ、6月24日に210名の保護者を迎えて開催



第二幼稚園



方に教わり、お迎えの家族に直ぐに伝えていました。

交通安全教室（全員）

6月6日埼玉県浦和西警察署の協力を得て、交通安全教室を実施しました。直接お巡りさんから、交通ルールや交通事故に合わないために、四つの約束（とまる・みる・まっ・たしかめる）をしつかり守ることを教わりました。

その後、模擬道路での横断歩道の正しいわたり方について実際に教えていただきました。「手を挙げて、右、左、右を見てわたりましょう。」

遠足（年長）

5月9日天候に恵まれて、東武動物公園へ遠足に行きました。ゾウ・キリン・サイなどの大型動物を見たり、ウサギやモルモットなどの小動物を直接抱えたり、羊に触れたりもしました。また、園内を走るミニSLに乗りました。

この遠足を通して、バスの乗り方や公園内の移動の仕方など年長さんらしく落ち着いた行動ができました。また、「今日の楽しい遠足のことをいっぱい話してね。」と先生



**盛岡大学との間で学術交流に関する協定を締結**

5月16日、東京成徳大学は盛岡大学との間で、教育・研究の協力を通じて学術交流の促進を図るため、学術交流に関する協定を締結いたしました。

今後両大学は、平等互恵、相互尊重の原則のもとに、共同研究及び教育学術活動の促進、学術資料及び刊行物の交換、学部学生との交流、教員・研究者・職員の交流を実施します。

八千代キャンパスにて行われた協定書調印式の際の写真・盛岡大学長徳田元氏（左）と本学海保博之学長（右）



**十条台キャンパス再整備計画 第一期工事完了**

平成25年3月下旬に着工された十条台キャンパスの新校舎建築工事が6月末に完了完成しました。

表紙写真の新3号館は校舎前の楷の木の名前を冠した「楷の木ホール」をはじめ造形、音楽などの実習室。新4号館、新体育館となっています。現在9月の使用開始に向け家具搬入、引越しの準備をしています。また、引き続き校舎解体など整備工事がキャンパスで行なわれます。



4号館  
講義室、PC講義室、研究室、  
学生支援コーナー



体育館  
アリーナ、ダンススタジオ、  
レクチャールーム

**大学子ども学部第5回手作り絵本コンクール開催**

大学在學生と高校生を対象としたコンクールです。応募期間は8月25日から9月22日まで。詳細は大学ホームページの「子ども学部からのお知らせ」をご覧ください。  
<http://www.tsu.ac.jp/>

**ベトナムの中学生が中高一貫部を訪問**

6月30日、ベトナムのThanh Nghiem Schoolのみなさん15名が訪日プログラムの一環として中高一貫部を訪問し、在校生と交流を行いました。

**第5回・全国中学校高等学校女子ラクロス選手権大会優勝**

高校ラクロス部 Brave Youth が2度目の全国制覇を成しました。

**全国高等学校総合体育大会(インターハイ)出場決定**

東京成徳大高校  
バスケットボール部(女子)  
陸上部 男子やり投げ  
(6月28日現在)

今年は今南関東を舞台として熱戦が繰り広げられます。その舞台の一つとして大学八千代キャンパス体育館がバスケットボール女子の会場として提供されます。

**平成26年度学園後援会総会開催**

6月21日、中高一貫部において恒例の学園後援会総会が開かれました。

総会には佐々木富也前会長、荒井千恵子顧問、薮崎千恵子顧問などがお元気で出席され会員どうしの友好を深めました。会には開会の辞、薮崎精克会長挨拶の後、木内理事長は学園の近況と話題、完成間近い十条台キャンパス新校舎の説明とプロ棋士廣瀬章人さんが今春見事にA級入りを果たし八段に昇段した快挙や歌舞伎で活躍されている中村種之助さんなど本校を卒業して活躍されている若い卒業生など明るい話題が披露されました。前年度の報告・監査、今年度の行事、予算案などについて議事を重ね、閉会の辞を向かえ総会は滞りなく終了しました。

引き続き行われた講演会は人文学部観光学科臺純子教授が「船を舞台にした映画を10倍?楽しめる」と題し、映画『タイタニック』、『ポセイドン・アドベンチャー』、『スピード2』を題材に、映画に映し出された客船の船内や客層から見た船旅の変遷について、ご自身の豊富な体験を交えながら解説されました。

オープンキャンパス・学校説明会のご案内

東京成徳大学 大学院
7/19  8/9  11/8  12/20  14:00～17:00
十条台キャンパス [子ども学部・経営学部・短期大学]
7/27  8/3  8/30  11/16
八千代キャンパス [人文学部・応用心理学部]
7/27  8/10  10/5  11/15
東京成徳大学高等学校
予約必要…8/9  9/21  10/3  10  17  24  12/21
予約不要…10/12  26  11/8  9  30  12/6
東京成徳大学中学校
9/7  15  10/12  22  11/23  12/14  1/7  17
東京成徳大学深谷高等学校
予約必要…9/7  10/18  11/16  21  23  24  28
12/13  19  20  21  27  1/12
オープンスクール(要予約)…8/3  9/21
東京成徳大学深谷中学校
予約必要…9/23  10/13  11/9
オープンスクール(要予約)…7/20  8/23
東京成徳短期大学附属幼稚園
予約必要…8/30  9/20
東京成徳短期大学附属第二幼稚園
見学ご希望の際事前予約



オープンキャンパス・学校説明会の詳細は各校のホームページをご覧ください

学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

東京成徳大学大学院	<a href="http://www.tsu.ac.jp/gra">http://www.tsu.ac.jp/gra</a>	電話 03-3927-4116
東京成徳大学	<a href="http://www.tsu.ac.jp">http://www.tsu.ac.jp</a> <a href="http://www.tsu-mobile.com">http://www.tsu-mobile.com</a>	
子ども学部 経営学部	十条台キャンパス入学課	電話 03-3908-4566 (直通)
人文学部 応用心理学部	八千代キャンパス入試広報課	電話 047-488-1000 (直通)
東京成徳短期大学	<a href="http://www.tsc.ac.jp">http://www.tsc.ac.jp</a>	電話 03-3908-4566 (直通)
東京成徳大学中学・高等学校		
中高一貫部	<a href="http://www.tokyoseitoku.jp/js">http://www.tokyoseitoku.jp/js</a>	電話 03-3911-2786
高等部	<a href="http://www.tokyoseitoku.jp/hs">http://www.tokyoseitoku.jp/hs</a>	電話 03-3911-5196
東京成徳大学深谷中学・高等学校		
中学校	<a href="http://tsfj.jp">http://tsfj.jp</a>	電話 048-573-1784
高等学校	<a href="http://www.tsfh.jp">http://www.tsfh.jp</a>	電話 048-571-1303
東京成徳短期大学附属幼稚園	<a href="http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind">http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind</a>	電話 03-3911-6337
東京成徳短期大学附属第二幼稚園	<a href="http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind">http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind</a>	電話 048-854-2151
東京成徳スイミングスクール		電話 03-3914-2383

学校法人 東京成徳学園 〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9 TEL 03-3911-2411 FAX 03-3911-6500  
 法人本部企画調査室 東京成徳広報 第36号 平成26年7月発行